

# 千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町 1-1  
公益社団法人千葉県園芸協会  
連絡先 043(223)3005  
発行日 毎月 1 日  
令和元年 10 月号

## 「施設園芸新技術セミナー・機器資材展 in 千葉」 旭市で盛大に開催

千葉県生産振興課 園芸振興室  
主査 榎 晋介

令和元年 8 月 7 日（水）、8 日（木）に、施設園芸における最新の研究や優良事例の紹介、機器資材等の展示を行う「施設園芸新技術セミナー・機器資材展 in 千葉」が旭市の千葉県東総文化会館で開催され、2 日間でのべ 822 人が来場しました。

一般社団法人日本施設園芸協会が主催する本イベントは、施設園芸をテーマとしたものの中では全国有数の規模となっており、平成 29 年度は大分県、30 年度は宮城県で開催されるなど、毎年、施設園芸が盛んな都道府県で行われてきました。令和最初の開催地は千葉県となりましたが、本県での開催は平成 8 年以降、23 年ぶりとなっています。本イベントでは、セミナーにおいて施設園芸分野の先進的な知見が得られることに加え、全国の主要な施設園芸メーカーによる機器資材の展示も行われるなど、生産者や関係機関が総合的に情報を入手することができます。

1 日目のセミナーは「施設園芸における新技術とスマート農業による生産性向上に向けて」をテーマとしており、最新の取組内容や成果について、国や生産者組織、自治体、研究機関、農業関係機関から情報提供がありました。今回のテーマである生産性向上に向けた様々な取組（実証施設の展開やグループによる勉強会、環境制御型予測ツール等）に加え、園芸用施設の強靱化に向けた研究も紹介されるなど、施設の保守管理から収量アップまで幅広い内容となりました。



幅広い分野の発表がなされました

2 日目の講演内容は「千葉県の地域農業を支える最先端施設園芸」をテーマとしており、本県を代表する先進的な生産者（(農)長生フロンティアファーム及び(有)椎名洋ラン園）による事例紹介や千葉県農林総合研究センターによる研究成果、また、千葉大学からは、施設園芸の展望や今後の J A グループ千葉との連携について講演がありました。

39 団体が出展した機器資材展示は 2 日間に渡って開催され、園芸用施設や被覆資材、各種機器に加え、スマート農業を行うための環境制御装置や補強資材の展示などが一堂に紹介される貴重な機会となりました。



39 団体が出展した機器資材展示会場

来場者数は 1 日目が 478 人（うち県内 182 人）、2 日目が 344 人（うち県内 107 人）となるなど大変盛況であり、施設園芸のスマート農業や園芸用施設の強靱化の取組に対する関心の高さが伺えました。県では補助事業等による施策推進に加え、こうした関係機関と連携したセミナー等を通じて、本県施設園芸の振興を図ってまいります。